

2014年北米ハンドメイド自転車展 出展支援・参加報告

平成26年3月14日～16日の3日間、今回で第10回目となる北米ハンドメイド自転車展が米国ノースカロライナ州シャーロットにあるシャーロットコンベンションセンターで開催された。この展示会はハンドメイド自転車製品に焦点が絞られた展示会で、出展参加にあたって各企業は展示会事務局の事前承諾が必要である。この為、高級自転車製品の展示が中心となっており、小規模のフレームビルダーが新製品を展示する場所として米国自転車業界の中で注目されている。また同様に日本の自転車業界からも、高級自転車新製品が紹介される場所として脚光を集めている。

尚この展示会は少しでも多くのフレームビルダーに出展の機会を与えるという主催者側の考え方から、毎年開催地が変更されることも特徴の一つである。



シャーロットコンベンションセンター

当協会ではこの展示会のこのような背景から、昨年からは国内のフレームビルダーや関連部品製造企業に対し、出展の機会が得られるよう出展支援業務を行っている。本年は6社から当協会に対し出展支援の申請があり、6社全ての出展が展示会事務局から認められ、当協会と一体となり日本企業によるグループ出展を行った。

展示会の概要

展示会の名称：2014 北米ハンドメイド自転車展（2014 North American Handmade Bicycle Show, 2014NAHBS）

会 期：平成26年3月14日～16日

会 場：米国ノースカロライナ州シャーロット市 シャーロットコンベンションセンター Cホール

出展者数：152社



受付の様様

1. 展示会全体の様子

初日は金曜日であったため来場者数はそれほど多くはなかった。昨年は初日開場前に多くの地元テレビ局やラジオ局が取材に来ていたが、今年はメディアの取材はそれほど多くなかった。しかし2日目の土曜日になると多くの来場者に恵まれ、一時は通路まで人で埋まるような状況となった。更に3日目の日曜日は雨の悪天候にもかかわらず、昼前後にはかなりの人出となっていた。この展示会は入場料を払えば誰でも参観できる展示会である。昨年もそうであったが、来場者の方々は友好的、好意的な方が多く、ビジネスショーとは違った穏やかな雰囲気を感じる事もできた。主催者はこのような都市と人々の特徴を考慮しながら開催地を選んでいるのかもしれない。来場者が出展者と談笑するといった状況も多く見られ、出展者と来場者の距離の近さを感じることができた。



会場内の模様

2. 完成車・フレームの展示

日本で「ハンドメイド自転車」と言えば、クロモリ製のロードバイクやシングルスピード等の競技用自転車を想像する人が多いと思われるが、北米ハンドメイド自転車展では、ロードバイクに加え MTB のほか各種の手作りの自転車が展示されており、ハンドメイド自転車の幅の広さを実感ができる。29er を履かせたオフロードバイクや沢山の荷物を搭載できるツーリングバイク、更にタンデムの展示も見られた。そのほか CFRP やアルミ等の非鉄金属素材を用いた自転車や、竹や木等の自然素材を加工したフレームを用いた自転車を製作しているところもあった。特に竹や木のフレームをフレーム素材に用いた自転車が昨年に比べ増えたように見受けられた。

また本年は自転車やフレームの展示以外にウェアやアクセサリの展示が特に増えたように感じられた。この点から、従来のハンドメイド自転車に限りなく焦点を絞った展示会という位置づけから、自転車製品全体に展示物を広げた展示会へと変化してきているような印象も受けた。

更に昨年までと同様本年も各賞が選ばれたが、残念ながら本年は日本の出展社の受賞はなかった。

3. 完成車以外の展示等について

完成車以外の展示では、大手メーカーのコンポーネント、タイヤ、ホイール、ラグやフェンダー、各種のパイプ、様々なサイクルパーツ、メンテナンススタンドや工具等の整備用具からフレームの設計ソフト、更にTシャツをはじめとしたウェア関係やサイクルキャップ等、様々な自転車関連製品が展示されていた。あるコンポーネントメーカーは自社製品装着完成車向けの独自の賞を設定し、注目度向上を狙っているところもあった。また変わったところでは保険会社が出展していた。フレームビルダー向けの保険を販売しているという事で注目を集めていた。

一方3日間の会期中に各種のセミナーも開催された。セミナーは昨年より充実しており、フレームビルダー向けの技術的・素材関係の内容のものほか、自身が如何にして起業し成長させたかといった内容のものや、知的財産権関連、保険会社によるセミナー等が開催された。

4. 当協会の実施した出展支援業務及び日本企業のグループ出展について

前述のとおり、当協会では昨年からの展示会に出展を希望する日本の自転車関連製品企業に対し出展支援を行っている。本年は以下の表のとおりフレームビルダー3社、部品製造企業3社、計6社から当協会に対し出展支援の申請があった。当協会では展示会事務局に対し、これら6社分の出展申請の代行を行い、展示会事務局より6社すべての出展承諾を得たうえで、出展料の立て替え払い、展示会HPへの登録等各種出展手続き、展示会事務局に対する小間位置の調整交渉、出品物搬出入方法の助言、航空券手配の助言、更に会期中の通訳業務等を行った。こうした支援業務は、海外の小規模特殊展示会への出展が容易になるという事で、出展支援申請企業から大変好評である。

展示会事務局からは、まとまった位置の小間が割り当てられ、日本企業によるグループ出展を行うことができた。こうしたこともあり各社の出展物は大きな注目を集め、実際に受注した事例も発生し、当協会に対し来年も同様の出展支援業務を行ってほしい旨の要望もいただいた。

2014北米ハンドメイド自転車展 当協会出展支援実施企業一覧

出展社名 (英文名)	住 所	電話 F A X	主な出品物
株式会社バイシクルわたなべ Bicycle Watanabe Co., Ltd.	〒422-8006 静岡市駿河区曲金 7-8-35	054-285-8845 054-285-9740	完成車
株式会社マツダ自転車工場 Matsuda Cycle Factory Co., Ltd.	〒116-0012 東京都荒川区東尾久 1-2-4	03-5692-6531 03-5692-6532	完成車
サンライズサイクルズ Sunrise cycles	〒161-0032 東京都新宿区中落合 3-29-5 1階	03-6908-3934 03-6908-3934	完成車
株式会社本所工研 Honjo Koken	〒130-0003 東京都墨田区横川 2-19-10	03-3625-2431 03-3625-2433	フェンダー
日工産業株式会社 Nikko Sangyo Co., Ltd.	〒125-0063 東京都葛飾区白鳥 4-14-23	03-3601-4166 03-3690-7616	ラグ
パナソニックポリテクノロジー 株式会社 Panasonic PolyTechnology Co., Ltd.	〒530-0044 大阪市北区東天満 2-9-1 若杉センタービル 8階	06-6354-7811 06-6354-7834	タイヤ



株式会社バイクルわたなべ



株式会社マツダ自転車工場



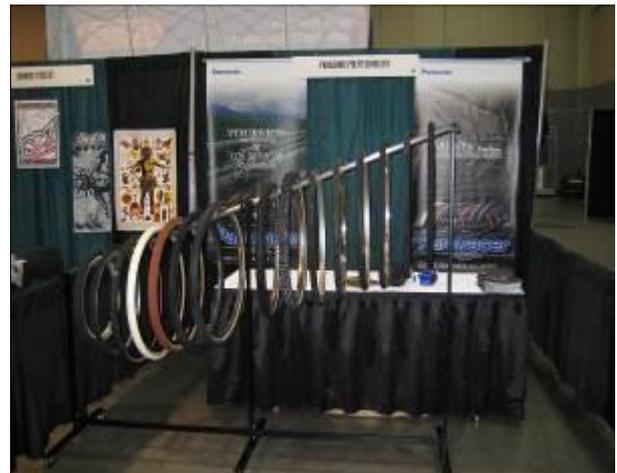
サンライズサイクルズ



株式会社本所工研



日工産業株式会社



パナソニックポリテクノロジー株式会社

5. 次回の北米ハンドメイド自転車展について

第11回目となる次回の北米ハンドメイド自転車展は2015年3月6日～8日にケンタッキー州ルイビルで開催される事が発表された。

以 上